

平成28年9月15日

熊谷学園 2-3 期 南京玉すだれクラブ(35回公演)報告

28.9.14 あきやま苑 小川デイサービスセンター 小川町青山

33回公演ユウネスデイサービスセンターの紹介で、姉妹施設である「あきやま苑 小川 デイサービスセンター」に伺い公演が実現しました。小川町は古来より和紙づくりが盛んで最近細川和紙が世界文化遺産になりました。

熊谷から約40分、街の周囲は山々に囲まれていて心和む古い町並みがまだ残っている素晴らしい所です。施設は山がすぐ近くにある木々多い場所にありました。

開演1時間前に着き、入所者の方々が昼食後の睡眠時間帯で施設内は静まりかえっていました。そして担当の吉田さんに挨拶し早速開演の準備をしました。

2時には会場に入所者の方々が集まり、予定された 2 時15分に開演し、我々側からの短い挨拶の後、舛田さんの「南京玉すだれ」の口上で演技に移りました。

入所者の皆さんは、テレビ等の映像で「南京玉すだれ」を見た事があるが、実際に目の前で演技を見た事が無い方々が多く、「すだれ」の変化に驚いていました。

その後の「麦畑」の曲に合わせて「玉すだれ」を演技するころには、テンポの良い曲に合わせて多くの手拍子があり、会場は盛り上がり、次第に良い雰囲気になっていきました。

「玉すだれ」を実際手に取って触れてもらうコーナーでは、「意外と重いね」という感想も聞かれ、開いた状態の「玉すだれ」を両手に持ち、笑み浮かべたポーズで職員が撮る写真撮影に収まっていました。

「サザエさん」健康体操では、ほぼ全員の方々が曲に合わせて楽しそうに体を動かし公演は最高潮に達し、「きよしのズンドコ節」で公演が終わりました。帰り際には、我々全員は入所者の方達と一人一人手を取り合い再会を約束し退出しました。帰りに郊外のコーヒー店に寄り今日の反省会をし帰宅しました。次回36回は、熊谷学園から依頼されていた「玉すだれ」の授業の様子をお届けします。



